

メッセージ 海と渚

Message Sea and Beach

発行者 公益財団法人 海と渚環境美化・油濁対策機構
〒113-0034 東京都文京区湯島2-31-24 湯島ペアービル7F
TEL 03-5800-0130 FAX 03-5800-0131
E-mail info@umitonagisa.or.jp URL http://www.umitonagisa.or.jp



ご挨拶

海洋プラスチックごみが世界的な環境問題となり、6月のG20大阪サミットの最重要課題の一つとして議論がされ、秋の国連総会でも大きな話題を呼ぶことであります。当機構では、漁具の生分解性プラスチックの開発に取り組んでおりますが、経済産業省が発表した「海洋生分解性プラスチック開発・導入普及ロードマップ」では、「陸上で利用中には従来どおりの機能をもつが、海洋に流出した際には、スイッチが入って生分解を開始する」新しいプラスチックを2050年までに開発するとしています。陸上で利用されたプラスチックが、海洋に出た途端に、スイッチが入って分解し始める？おとぎ話かSF小説のようですね。スイッチの誤作動は心配で、海上利用では更に高度なスイッチが要求されますが、実現してくれると嬉しいものです。

このメッセージの前身である『MB21だより』の創刊号に挨拶を寄せられた当時水産庁長官で当機構の元副理事長の川合淳二氏にお会いしました。相変わらずお元気で、当機構草創期の話をお伺いしました。今から26年前であります。問題認識は今よりも高く、応援団体も多かったと…。我々も皆様のご期待に応え、原点に立ち返るべく、以下に内村良英初代理事長の発刊挨拶を再掲させていただきます。(専務理事 桑)

「戦後の著しい経済成長とともに美しい浜辺が失われ、また、海、浜自体も海洋廃棄物、心なき人々の空き缶、空きビン等の投げ捨てにより汚れております。また、漁業のために大事な藻場も減り、沿岸の漁民が泣いている海域もあります。我が国は四方海であり、昔から美しい海岸がどれほど日本人に心の安らぎを与えてきたかわかりません。多くの日本人は、夏になると子供の頃親に連れられて美しい浜辺で海水浴をした記憶を持っている筈です。我が国の海辺に美しい海と渚を残すことは、21世紀の日本人のため我々現代人に課せられた使命ではないでしょうか。このような仕事は、オール日本のためのことであり、直接の受益者がおりません。このため財政的には運営が容易ではありません。何と申しましても、会員の皆様のご支援、ご協力なしにはこの事業は運営できません。『MB21だより』は、当機構の活動を会員各位にご報告申し上げると同時に、関連ニュースをお届けする目的で発行することと致しましたので、ご愛読をお願い申し上げます。」

CONTENTS

表紙	1
1. 平成30年度運営委員会開催	2
2. 環境・生態系維持・保全活動等支援事業	3~4
～海の森からの贈り物～海藻おしば教室 海藻おしば協会	
～ふるさと恩返しプロジェクト～心に刻む里海物語～ Team JIN「仁」	
～「拾い箱」を通じた環境保全「習慣」普及プロジェクト～ 誇れるふるさとネットワーク	
～第11回・第12回 海藻シンポジウム報告書～ 江ノ島・フィッシャーメンズ・プロジェクト	
3. G20新潟農業大臣会合出展	5
4. プラスチック資源循環アクション宣言をしました。	5
5. 海と渚クリーンアップ活動(海浜清掃活動)報告	6~11
海の羽根募金・なぎさの環境基金・あとがき	12

1. 平成30年度運営委員会開催

日時：平成30年3月7日(木) 14:00~16:00

場所：東京都文京区湯島2-28-14 アカデミー湯島5階視聴覚室

海と渚の環境美化・水産資源の保護その他の海洋・海岸環境の保全整備に関する事業の円滑な運営を図るため議題について審議し了承を得た。

議題

- (1)平成31年度事業計画・収支予算について
- (2)平成30年度海と渚の環境美化推進基金の事業実績について
- (3)なぎさの環境基金からの助成応募要領について
- (4)募金実績について
- (5)その他

平成30年度事業実績

(1)海と渚の清掃活動普及啓発事業

ア 海と渚の清掃活動への呼びかけ及び支援事業
海浜利用が活発になる「海の日」に併せて海浜等の一斉清掃を呼びかけた。

第38回全国豊かな海づくり大会～高知大会～のプレイベントとして、高知県高知市で、「全国一斉海浜清掃旗揚げ式」を開催する予定であったが、中国地方を襲った集中豪雨災害及び高温などの影響で、開催中止となった。

イ 海と渚の清掃活動の普及・啓発及び支援

海浜清掃に資機材を提供した。全国1,700ヶ所に自然物用ゴミ袋(大)33万枚・(小)1.7万枚、人工物用ゴミ袋(大)22万枚・(小)1.8万枚を配布した。

(2)海洋・海岸環境保全整備活動促進事業

ア 環境・生態系維持・保全活動等調査事業(海の羽根募金事業)

・海浜等の清掃活動に関して都道府県を通じてアンケート調査を実施した。

・漁業者が参加した植樹活動の実態等についてアンケート調査を実施した。

イ 環境・生態系保全活動支援事業(なぎさの環境基金事業)

次世代の環境保全を担う人材の育成と沿岸域の環境保全を目指す団体などが実施するプロジェクトに助成した。助成先は「海藻おしば協会」、「呉市市民公益活動団体TeamJIN「仁」」、「誇れるふるさとネットワーク」、「江ノ島フィッシャーマン

ズ・プロジェクト」、「海守さぬき会:故郷(ふるさと)の海レスキュー隊計画2018」の5団体、

(3)漁業系海洋プラスチックごみ削減対策

①漁業養殖業統計年報の分類を参考に各漁法の全国団体及び漁業協同組合を訪問し、漁業・養殖業に使用されるプラスチック量を聞き取り調査した。

②各地域に作業部会専門家を任命し、専門家はこれまでの知見を活用して地域に合った使用済み漁具の処理方法の選定に取り組んだ。

③カキ筏に生分解性プラスチックで制作したカキパイプを垂下し、3ヶ月後にカキの収穫と同様の作業を実施して、破碎など耐久性を調査した。

(4)漁業系資材再利用モデル事業

漁業者自らが圧縮減容機を利用し、処理コストを削減しつつ、平成29年度までの補助事業の成果を普及するため、鹿児島県東町漁協(2週間)からの申し入れにより圧縮減容機及びベレット造粒機の操作指導を行った。

(5)海と渚環境美化推進基金への募金の呼びかけ

ア 海の羽根募金への呼びかけ

海と渚の環境美化活動を全国的な運動として展開し、推進を図るため、「海の羽根募金」について、特に海浜の清掃美化活動が盛んとなる「海の日」等を中心に、会員、個人、団体及び法人等関係方面に広く募金を呼びかけた。

また、ホームページ、機関誌「メッセージ海と渚」等により海の羽根募金への呼びかけを広く行った。

イ なぎさの環境基金への呼びかけ

海洋生物のゆりかごとして機能している豊かな海岸域の環境保全活動の促進を目的として、全国漁業協同組合連合会と協力し、環境保全のための次の世代を担う人材の育成と沿岸域の環境保全を目指す団体などが実施するプロジェクトに助成する必要な資金を捻出するための「なぎさの環境基金」に対し、広く民間企業、水産関係団体、個人、商工会及びNPO等へ募金を呼びかけた。

2. 環境・生態系維持・保全活動等支援事業

藻場、干潟、サンゴ礁など青く生物豊かな沿岸域の環境の保全活動を促進することを目的として、環境保全のための次の世代を担う人材の育成と沿岸域の環境保全を目指す団体が実施するプロジェクトに助成します。平成30年度に助成した団体の活動を報告します。

詳しくはホームページ(<http://www.umitonagisa.or.jp/html/n-kikin.html>)に掲載しています。

～海の森からの贈り物～海藻おしば教室

海藻おしば協会

藻場の現状と大切さ、海を汚してはいけないことを学習し、「海の森は陸の森が支えている」、海と陸の繋がりも理解してもらうことを目的に漂着海藻を使ったハガキ1枚の楽しい海藻おしば作り教室を開催した。

第1回：静岡県伊東市立八幡野小学校

- ・開催日時：平成30年11月2日(金)午前10時～12時
- ・会場：静岡県伊東市立八幡野小学校
- ・参加者：63名*生徒：61名／先生：2名



第2回：東京都目黒区立原町小学校

- ・開催日時：平成30年12月3日(土)午前11時05分～12時30分
- ・会場：東京都目黒区立原町小学校
- ・参加者：45名*生徒：44名／不明：1名



レクチャアでは、ワカメや大型標本作品を使って海藻を詳しく説明した。海藻は「キレイ」と全員手を上げた。右はおしば作り作業の写真

～ふるさと恩返しプロジェクト～心に刻む里海物語～ Team JIN「仁」

【課題】

- ◇海岸清掃活動においては、清掃する対象の海岸が広いため、清掃に協力いただけるサポーターを如何にして募るかが課題となっています。
- ◇竹チップ化を農業資材として利用する方法の確立及び有価物としての価値の検証が課題となっています。
- ◇カキ養殖用プラスチックパイプの回収スキームの確立が課題となっています。

【活動の成果と今後の課題】

環境学習の継続開催とサポーターの募集活動
継続開催の効果：PTAや自治会への協力要請による増員(昨年：10名⇒今年：28名)

◇竹チップの有効利用と有価物化の可能性

農業用肥料：竹チップを混在したたい肥の生育効果を確認

防草用資材：効果に期待できるものの施敷厚の再検証を要す

【ねらい・目標】

<見えたこと>

◇子どもたちの活動が大人の行動・姿勢に感化をもたらす

身近な問題を自分ごととして捉える感性を育み、子どもたちの自発的な活動が支援できるような態勢づくりが肝要と思われます。

～「拾い箱」を通じた環境保全「習慣」普及プロジェクト～ 誇れるふるさとネットワーク

【活動内容】

①「拾い箱」の普及・啓発

島内の海岸10ヶ所に設置し、拾われた漂着ごみは与論町役場・環境課が清掃センターまでの運搬・処理を行っている。イベント的に行う従来のごみ拾いとは異なる「ごみ拾い」=地域美化の習慣を根付かせることを図ると同時に、SNSでの発信、島内飲食店や宿泊施設での掲示物設置を通じて、観光客への普及・啓発を行う。

②観光ハイシーズンにおける効果検証

観光客が集中する8～9月の大金久海岸における

「拾い箱」の詳細状況を毎日チェックし、「漂着ごみが収拾されているか」「漂着ごみとは異なるもの=持ち込みゴミ、ポイ捨てが行われていないか」といった経過観察を集中的に実施した。

③島外地域への普及・啓発

計4地域での実施 約631名に対しての普及・啓発を実施

- ・法政大学生「環境教育論」受講生:約150名
- ・立教大学生「自然と人間の共生」受講生:約250名
- ・喜界島 イベント参加者:21名
- ・関西与論会 総会出席者:約210名

～第11回・第12回 海藻シンポジウム報告書～ 江ノ島・フィッシャーマンズ・プロジェクト

【第11回海藻シンポジウム】

- ・開催日時:平成30年12月8日(土)
- ・参加者:大人80名/小人75名 総人数155名

【第12回海藻シンポジウム】

- ・開催日時:平成31年2月16日(土)
- ・参加者:大人95名/小人82名 総人数177名

【開催内容】



①藻場ミニ講義



②養殖ワカメの種付け・刈取り



③養殖棚までのミニクルージング



④海の生き物タッチプール



⑤漁師さんに聞いてみよう



⑥ダイバーズトーク

両日も、天候に恵まれて参加者も多く、アンケート結果をみても満足度の高いイベントとなりました。やはり動画の導入影響は大きく「わかりやすかった」「以前よりグレードアップしている」など現場でも多数お声をかけて頂きました。

3. G20新潟農業大臣会合出展

2019年6月に大阪府大阪市で開催されるG20サミットの会合を前に新潟市の朱鷺メッセにおいてG20新潟農業大臣会合が開催されました。日本開催は初めてで、これまで経験したことのない大規模な国際会議です。参加者は日本を除いて300人程度、メンバー20か国に加えて、招待国やWTO、FAOなどの国際機関です。G20に合わせて日本が議長国として開催する8つの関係関係会議の皮切りとなる農業大臣会合の関連展示に参加しました。展示・説明は5月10日から12日までの3日間行いました。当機構ではプラスチックごみ抑制関連のブースを設置し(メッセージ・カレンダー配布)バイオプラスチックで作ったカキパイプ(スパーサー)を展示、同じブースには、発泡スチロール製フロートのペレット燃料化の普及に取り組んでいる株式会社エルコムと回収した漁網からペレットを作成し、ペレットから糸を作り漁網にする廃漁網のリサイクルに取り組んでいる株式会社ニチモウが展示・説明をしました。

入場には事前登録したIDカードが必須で、一般の方は入場できないため、見学者は大臣会合出席者に限定され、全般として見学者より展示関係の方が多く様子でした。5/10に予定されていた報道陣向けツアーと準備会合参加者の見学は協議が長引き中止。5/11の大臣視察とプレツアーでは3グループ(大臣/副大臣/政務官)に分かれ、吉川農林水産大臣他各国大臣が視察に来られました。最終日の共同記者会見後には子供たちが見学に訪れ、目を輝かせながら見学した後、地元新潟物産展示のコーナーで苺などの食材を頬張るのを見てようやく我々も緊張がほぐれました。(福田)



4. プラスチック資源循環アクション宣言をしました。

「プラスチック資源循環アクション宣言」とは

農林水産省において、企業・団体によるプラスチック問題に関する自主的な取組に焦点を当て、これを積極的に推奨することとしており、漁業分野においても、海浜清掃や漁業系海洋プラスチックごみの削減に取り組む団体などの自主的な取組の宣言を促すとともに、宣言を行った団体の取組について情報発信することにより、自主的な取組の拡大を目指すこととしています。

当機構では、海岸清掃を通して海岸美化や海洋環境への関心と環境保全への意識向上を目指した活動に加えて、水産庁の補助事業で漁業系廃棄物の処理に取り組んでおり「海洋環境の美化及び漁業系プラスチック製品の適正処理への活動宣言」を行いました。内容は以下に掲載されています。機構の他にも多くの漁連・漁協のアクション宣言が掲載されています。(福田)

http://www.jfa.maff.go.jp/j/signen/action_sengen/190418.html



5. 平成30年度 海と渚クリーンアップ活動(海浜清掃活動)報告

未来に残したい、美しい浜辺・青い海

*全国から集まった海浜清掃活動報告をご紹介します。(ホームページに掲載したものの一部です)

*ホームページ <http://www.umitonagisa.or.jp/html/genchihoukoku.html>

*Twitter <https://twitter.com/umitonagisa>

■ 青森県

八戸市南浜漁業協同組合

①平成30年10月21日

②平成30年11月11日

活動場所 八戸市南浜漁港内

参加者 ①490名 ②490名

ごみの量 ①自然物ごみ 50袋

人工物ごみ 50袋

②自然物ごみ 50袋

人工物ごみ 50袋

コメント 海岸清掃をして漁港内
がきれいになったのでよかった。



中泊町

平成30年4月21日午前9時~11時

活動場所 マリンパーク・折腰内海岸

参加者 180名

ごみの量 自然物ごみ 500袋

人工物ごみ 500袋

コメント マリンパークの海岸と折
腰内海岸を「小泊海岸を守る会」がボ
ランティアで清掃活動を行った。



蓬田村

平成30年7月4日

活動場所 蓬田村村内海岸

参加者 250名

ごみの量 自然物ごみ 250袋

人工物ごみ 200袋



野辺地町漁業協同組合

平成30年7月12日午前5時~7時

活動場所 青森県上北郡野辺地町
字目ノ越地区

参加者 100名

ごみの量 3,180Kg

コメント 継続が必要である。



むつ市、近川中学校

平成30年7月19日

活動場所 中野沢地区海岸

参加者 38名

ごみの量 自然物ごみ 50袋

人工物ごみ 15袋

コメント 今年度は悪天候のため清
掃実施日の延期が続き、規模を縮小し
て実施した。



外ヶ浜町役場

①平成30年6月8日

②平成30年7月3日

活動場所 三厩地区龍飛海岸

参加者 ①86名 ②95名

ごみの量 自然物ごみ 400袋

人工物ごみ 100袋

コメント 産業廃棄物になるゴミが多
く、その処分方法に難儀している。



小川原湖漁業協同組合

平成30年7月1日午前7時

活動場所 小河原湖畔全域

参加者 245名

ごみの量 自然物ごみ630kg(流木)

人工物ごみ890kg

(可燃ゴミ590kg、缶・ビン

類250kg、鉄くず50kg)

コメント 毎年1回行われる小川原
湖クリーンデーは、今年で23回目を迎え
ましたが、今年は事前に町でも清掃活
動を行ったため全体的にゴミの量は少
ないと感じたものの、結果的には昨年度
より320kg程度多い結果となりました。特
に自然ゴミについては、近年毎年秋に
行っている水草・藻等の除去作業にお
いて流木等も回収しておりましたが、回
収量は昨年と比較して大幅に増加しま
した。生活の糧である漁場の環境美化
と湖水浄化を図ることは我々漁師の努
めでありますが、漁師だけの力では限
界があり、上流域で生活する人々の協
力も必要不翔であります。地域一帯と
なった環境美化活動が積極的に行わ
れるよう、今後とも事業の推進にご協
力の程よろしくお願ひ申し上げます。



■ 秋田県

三種町商工観光交流課

平成30年6月22日

三種町建設業協会クリーンアップ

平成30年6月25日

町・小中学校合同クリーンアップ

活動場所 釜谷浜海水浴場

参加者 400名(建設業協会:約
30名、町:約370名)

ごみの量 自然物ごみ 約800袋、

人工物ごみ 約500袋

コメント 三種町釜谷浜では、毎年
7月に海開きを行い、町の最大イベン

トであるサンドクラフトが開催される。海開きを前に、町民自らの手で海岸をきれいにしようという事業。まず町建設業協会が重機を使用して巨大な流木等を含めたごみを収集、その後日、町民(各協力団体、小中学生等)による大規模クリーンアップを行う。



■ 茨城県

川尻漁業協同組合 女性部

平成30年4月8日、5月13日、6月10日、7月8日、8月5日、9月9日、10月14日、11月11日、12月9日、平成31年1月13日、2月10日、3月10日

活動場所 川尻漁港周辺

参加者 10名

ごみの量 人工物ごみ 220袋

コメント 空き缶とゴミを回収しています。



■ 東京都

NPO 法人海さくら 「海のパッチは街が救う」

活動場所

①平成30年6月17日

神奈川県藤沢市江の島

②平成30年7月14日 東京都渋谷区

コメント 海のごみの約8割が街・川からやってきて、海に出たごみはマイクロプラスチックとなり、多くの海の生き物が食べてしまっている。2050年にはマイクロプラスチックの数が魚の数より多くなるという危機に直面し、「街(生活)と海のつながり」そして「マイクロプラスチック」などに関心をもってもらうために、「海の叫び魚」という巨大オブジェを制作し、NPO法人海さくら・日本財団を中心に啓蒙活動を実施致しました。



「BLUE SANTA」

活動場所

③平成30年6月24日

神奈川県横浜市横浜駅西口

④平成30年7月16日

神奈川県藤沢市江の島

⑤平成30年7月16日

全国各地

コメント 赤いサンタクロースは、クリスマスにやってきます。青いサンタクロースは、海の日にやってきます。海の日とは、海の恩恵に感謝する日として定められ、休日となっています。そこで、全国の皆様と共に青いサンタクロースになって海をキレイにしたいと思います。青いサンタクロースは、海をキレイにするために生まれました。子どもから大人まで青いサンタクロースになって、毎年この海の日海をキレイにする文化が生まれることを願います。1年で1日だけでも海の素晴らしさや、海の現状に目をむけていただければと思います。実施致しました。



「どすこいビーチクリーン」

活動場所

⑥平成30年8月18日

神奈川県藤沢市江の島

(片瀬東浜)

参加者 ①500名 ②500名

③500名 ④1,000名

⑤8,129名 ⑥700名

ごみの量 合計

自然物ごみ 5,171袋

人工物ごみ 3,788袋

コメント 現役のお相撲さんが海にやってきて、参加者の皆様とビーチのごみを拾い、ザルで細かなごみを拾い土俵をつくり、子供たちや大人たちが、現役のお相撲さんに立ち向かいます。海の風を感じながら、砂まみれになるイベントです。2015年大嶽部屋(大鵬道場)様にご協力をいただき、2016年から武蔵川部屋様・鍛山部屋様も加わって、2017年には阿武松部屋様・千賀ノ浦部屋様も加わり、全国のビーチで実施。2018年は江の島場所として、4部屋合同で片瀬東浜にて実施しました。



■ 神奈川県

横須賀市東部漁協

横須賀支所

平成30年6月5日、11月13日

活動場所 横須賀市東部漁協漁港内

参加者 6月 8名、11月 44名

ごみの量 6月 自然物ごみ 30袋

人工物ごみ 10袋

11月 自然物ごみ 25袋

人工物ごみ 10袋

その他(大袋) 17袋

コメント 私共当支所女性部は毎月一回清掃を実施しております。11月は男子組合員と一緒にしました。



長井町漁業協同組合

平成30年11月2日

活動場所 長井(各港)

参加者 270名

ごみの量 自然物ごみ 2,000袋

人工物ごみ 2,000袋



■ 新潟県

粟島浦村

平成30年6月17日午前9時40分

活動場所 新潟県岩船郡粟島浦村

字藻崎海岸・小倉町海岸

参加者 383名

ごみの量 自然物ごみ 2,000袋

人工物ごみ 2,000袋



粟島クリーンアップ作戦 実行委員会

平成30年6月17日

活動場所 ハゲノ浜海水浴場、茂崎
海岸、小倉町海水浴場

参加者 370名

ごみの量 人工物ごみ 5.95t



■石川県

クリーン・ビーチいしかわ 実行委員会

平成30年4月1日～平成31年3月31日

活動場所 約182カ所

参加者 75,335名

ごみの量 自然物ごみ 24,500袋
人工物ごみ 20,500袋

コメント 2018年は、海岸清掃実施日に比較的天候に恵まれ、各地で順調に活動が行われましたが、思わぬ気象現象が活動にブレーキを掛けました。

それは、高温により屋外では命を脅かすような暑さの日が続いたことと、夏から秋に発生した猛烈な台風の接近で、石川県のみならず全国各地で多くのイベントが中止に追い込まれる事態が続いたことです。クリーン・ビーチいしかわの活動も、暑さによる事故を防止するため「稚魚の放流」では小学生の参加を見合わせ、大学生で放流しました。

また「学生クリーン・ビーチいしかわ」では、台風接近の予報を受け、危険を回避するために屋外活動の清掃を中止にし、屋内での活動を実施しました。異常気象の影響で、今後もこのような傾向が予想されそうです。

「いしかわ漁民の森づくり」は昨年に引き続き、育樹活動を実施しました。羽咋市千里浜の松林で地元の方も加わり枝打ちを実施したところ、密集した松の間に光が入り、松林は明るさを取り戻しました。海岸清掃後にスポーツを楽しむ「ビーサン跳ばし世界選手権in金沢」は、10回目を迎え、会場では「ビーサン」のテーマソングの生歌披露もあり、例年以上に盛り上がりました。

2019年も安全に配慮し、活動を続けていきたいと思えます。



■富山県

射水市 庄西地域振興会、 海老江地域振興会、 本江地域振興会

平成30年7月1日

参加者 1,700名

ごみの量 自然物ごみ 2,000袋



■静岡県

Nature Clean (ネイチャー・クリーン)

平成30年3月24日、4月21日、5月14日、
5月27日

活動場所 芳川・馬込川の川辺・土
手、馬込川東西岸、馬込
川河口東西岸の一带

参加者 55名

ごみの量 自然物ごみ・人工物ごみ
合計290袋



沼津市役所

平成30年7月1日

活動場所 静岡県沼津市富士海岸他

参加者 7,763名

ごみの量 自然物ごみ 13,100kg、
人工物ごみ 3,100kg



■福井県

越前町漁業協同組合

平成30年6月3日

実施場所 越前町四カ浦、小樟、道口、
厨、大樟

参加者 120名

ごみの量 計64m³

コメント 荒天の日の次の日だったため、流木等が多数散乱していた。



若狭三方漁業協同組合

平成30年6月3日

実施場所 常神半島海岸線

参加者 163名

ごみの量 自然物ごみ 1,500袋
人工物ごみ 250袋

コメント 人工物ごみ袋が小さいので、自然物ごみ袋様に大きくしてほしい。



北潟漁業協同組合

平成30年6月3日、7月1日

実施場所 福井県あわら市北潟・
波松・浜坂海岸

参加者 200名

ごみの量 自然物ごみ 88袋
人工物ごみ 42袋
その他(漁業用浮き)72個

コメント ハンゲルが混ざった海外からのゴミが多くて驚いた。清掃後に砂浜を振り返るときれいになった砂浜が今後も続くように



■愛知県

豊浜漁業協同組合

①平成30年6月12日午前7時～10時

②平成30年7月14日午前7時～10時

実施場所 ①内海漁港内、山海漁
港内 ②豊浜港内

参加者 ①42名 ②60名

ごみの量 ①自然物ごみ 2,000kg
人工物ごみ 250kg
②自然物ごみ 3,450kg
人工物ごみ 560kg



蒲郡530運動推進協議会

①2018年5月27日午前8時～9時

②2018年10月7日午前8時～9時

活動場所 蒲郡市内5ヶ所、海陽ヨット
ハーバー周辺、竹島園
地・市民会館周辺、浜町
一帯、春日浦海岸・北浜海
岸、西浦町シーサイドロード

参加者 ①1,023名 ②552名

ごみの量 自然物ごみ 3,000袋
人工物ごみ 0袋

コメント 市内の海岸5ヶ所の清掃活動をしており、参加者からも好評を得ている。市内だけでなく、市外からの参加者も多く、大きな行事となっている。



美浜町

①平成30年6月14日②平成30年10月9日③平成30年10月13日

実施場所 美浜町西海岸(伊勢湾側)、東海岸(三河湾側)

参加者 149名(①68名②13名③68名)

ごみの量 自然物ごみ 300袋
人工物ごみ 160袋

コメント 海岸清掃で出た木片等は大量で袋に入れることは不可能であるのでその場で燃やせるようにしてほしい(風向き等は自分達で判断する)



三重県

三重県漁業協同組合連合会

平成30年7月14日

活動場所 白塚海岸周辺

参加者 410名

ごみの量 自然物ごみ 200袋
人工物ごみ 200袋

コメント きれいな海を残していくためには、活動を継続することが重要。



滋賀県

滋賀県漁業協同組合連合会

平成30年7月1日

活動場所 沿湖漁協33組合の漁港を中心に琵琶湖湖岸等

参加者 2,582名

ごみの量 自然物ごみ 30.15トン
人工物ごみ 14.72トン



愛媛県

下灘漁業協同組合

平成30年4月7日、6月5日、8月4日、10月2日、12月8日、平成31年2月2日

活動場所 豊田漁港・市場周辺・漁船上架洗浄施設・青石海岸

参加者 延べ人数 250名

ごみの量 自然物ごみ 約70袋
人工物ごみ 約100袋

その他 汚泥など

コメント ごみの分別が難しいと実感した。決まられた時間だけでは、なかなかきれいにする事ができないがこの活動を通じて、普段から気にかけて清掃してくれる方がいるので助かっている。



南宇和ライオンズクラブ

平成30年6月2日午後1時~3時

活動場所 片の浜(成蓉海岸)

参加者 115名

ごみの量 自然物ごみ 320袋
人工物ごみ 300袋



南宇和建設協会

平成30年7月11日午前9時~11時

活動場所 須ノ川公園(海岸)

参加者 17名

ごみの量 自然物ごみ 70袋
人工物ごみ 60袋



愛南町B&G御荘海洋クラブ

平成30年7月15日午前10時~11時

活動場所 御荘湾・長洲川(御荘B&G海洋センター艇庫周辺)

参加者 24名

ごみの量 自然物ごみ 10袋
人工物ごみ 10袋

コメント 大変暑い中での活動となりましたので、熱中症に注意しながらゴミを収集しました。子どもたちはゴミの多さに驚いていましたが、自分たちで活動地域を綺麗にすることによって、環境保全に対する興味も湧いているようでした。



愛南町東海公民館

平成30年7月16日午前7時~8時30分

活動場所 岩水、垣内、敦盛、柿ノ浦、満倉

参加者 150名

ごみの量 自然物ごみ 250袋
人工物ごみ 230袋



徳島県

美波町観光協会

平成30年 ①6月24日 ②8月27日

③12月10日

活動場所 田井ノ浜海水浴場(美波町由岐地区)

参加者 ①57名 ②15名 ③10名

ごみの量 自然物ごみ 100袋
人工物ごみ 50袋

コメント 近年、台風等によりたくさんのゴミ等が海岸にうちあがるようになってきている。主は流木、そして海草。それから、それ等に混じり空缶、ペットボトル、網等もたくさん見受けられるようになった。美しい海水浴場を守っていく為、今後も地域一丸で清掃を続けたいと思っている。



広島県

大崎上島町

平成30年7月15日

活動場所 鮎崎海岸、外表海岸、木江海岸、大西海岸、大串海岸

参加者 約630名

ごみの量 自然物ごみ 約100袋
人工物ごみ 約50袋

その他 流木、タイヤ、発泡スチロール、プラスチック類

コメント 流木や発砲スチロール、プラスチック類等の漂着ゴミが多く回収された。



福岡県

福岡有明海漁業協同組合連合会

平成30年8月20日午前7時~10時

活動場所 福岡県有明海沿岸域
参加者 1,768名
ごみの量 自然物ごみ 54.63トン
 人工物ごみ 14.70トン
 その他 1.40トン
 合計 70.73トン

コメント 昨年比で、人工物のごみやその他(漂着木等)が多かった。



■ 佐賀県

佐賀玄海漁業協同組合

平成30年6月29日、7月13日、14日、15日
活動場所 玄海沿岸域海浜
参加者 約823名
ごみの量 自然物ごみ 1,486袋
 人工物ごみ 823袋



屋形石漁業協同組合

平成30年7月14日
活動場所 玄海沿岸域海浜
参加者 約82名
ごみの量 自然物ごみ 150袋
 人工物ごみ 50袋



小川島漁業協同組合

平成30年7月29日
活動場所 玄海沿岸域海浜
参加者 約54名
ごみの量 自然物ごみ 70袋
 人工物ごみ 10袋



仮屋漁業協同組合

平成30年7月14日
活動場所 玄海沿岸域海浜
参加者 約78名
ごみの量 自然物ごみ 300袋
 人工物ごみ 20袋
コメント 玄海における廃棄物による漁業被害及び漁場の効用低下を抑制するため、漁業者自らが廃棄物の

除去・回収処理をおこない、漁場の環境保全を図る。



■ 大分県

べっぷの海岸みまもり隊

平成30年6月17日、7月15日、8月19日、9月16日、10月21日、11月18日、12月16日、平成31年2月17日、3月17日
活動場所 餅ヶ浜海岸南側(2回)、餅ヶ浜海岸北側(3回)、SPAビーチ(4回)

参加者 422名
ごみの量 自然物ごみ 大900袋、小100袋、人工物ごみ 大230袋、小70袋、その他流木等0.5t

コメント ・注射器や外国の空き缶なども流れ着いていて驚いた。・このような活動が広まることでゴミを捨てる人が減ってほしい。・ビーチがきれいになった。・参加者が徐々に増えてきた。この活動がもっと広まると良い。



■ 長崎県

佐世保市相浦漁業協同組合

平成30年4月17日～平成31年3月22日
活動場所 佐世保市(高島、浅子、日野、大崎、黒島、船越)
参加者 152名
ごみの量 自然物ごみ 合計2,050Kg
 人工物ごみ 合計1,500Kg



川棚町役場

平成30年8月26日、9月23日、10月5日、10月13日
活動場所 川棚町内海岸
参加者 84名
ごみの量 総計2,660kg



■ 宮崎県

栄松漁業協同組合

平成30年8月5日午前7時～8時30分
活動場所 栄松漁協前、岸壁一带
参加者 35名
ごみの量 自然物ごみ 30袋
 人工物ごみ 5袋

コメント 漁協前一带の除草及び流木等の撤去作業



外浦漁業協同組合

平成30年8月10日午前7時
活動場所 みなとの森公園周辺、夫婦浦港、外浦港
参加者 110名
ごみの量 自然物ごみ 2トン車1台
 軽トラック2台
 人工物ごみ 軽トラック1台
その他 2トン車1台
コメント 岸壁清掃



日南市漁業協同組合

①平成30年7月18日午前8時～午後12時 ②平成30年10月24日午前8時～午後11時
活動場所
 ①宮崎県日南市油津港内
 ②宮崎県日南市鶴戸港内
参加者 ①30名 ②15名
ごみの量 自然物ごみ 200袋
 人工物ごみ 200袋

コメント 漁業者及び漁協職員による漁港内の一斉清掃 ①臨港道路、岸壁等の空き缶、ゴミ等の収集 ②利口道路及び周辺の雑草除去



宮崎漁協 女性部

平成30年7月17日午前7時30分
活動場所 宮崎港 漁船係留岸壁周辺
参加者 65名
ごみの量 自然物ごみ 10袋
 人工物ごみ 50袋
コメント 漁船係留岸壁周辺の清掃



■ 電事連

北海道電力株式会社 羽幌ネットワークセンター

平成30年6月16日

活動場所 羽幌町 羽幌サンセット
ビーチ

参加者 6名

ごみの量 人工物ごみ 6袋



北海道電力株式会社 稚内ネットワークセンター

平成30年7月12日午前9時20分～10
時40分

活動場所 稚内市抜海海岸

参加者 11名

ごみの量 自然物ごみ 4袋

人工物ごみ 21袋



北海道電力株式会社 送配電カンパニー中標津 ネットワークセンター

平成30年7月10日午前11時～午後12時

活動場所 目梨郡羅臼町(天狗岩付近)

参加者 9名

ごみの量 自然物ごみ 11袋

人工物ごみ 17袋



北海道電力株式会社 送配電カンパニー小樽支店

平成30年6月20日午後2時～3時

活動場所 朝里海水浴場

参加者 14名

ごみの量 自然物ごみ 12袋

人工物ごみ 11袋



北海道電力株式会社 富川ネットワークセンター

平成30年6月26日

活動場所 日高町フィハップ海岸

参加者 5名

ごみの量 自然物ごみ 4袋

人工物ごみ 13袋



北陸電力株式会社 原子力本部

平成30年7月9日午後4時～5時

活動場所 増穂浦海岸(石川県羽咋
郡志賀町富来領家地内)

参加者 90名

ごみの量 自然物ごみ 135袋

人工物ごみ 40袋

コメント 幼い頃、海水浴で遊んだ『増穂浦海岸』の砂浜が、小さくなった事に驚き、昔のきれいだった砂浜の復活を願って清掃しました。年々多くなる人工物のゴミを集めながら、少しでもゴミを減らす工夫を家庭でも取り組んで行きたいと思いました。



武豊火力発電所

平成30年6月14日午前9時～10時

活動場所 武豊火力発電所近辺
(石田川～笠松川)

参加者 104名

ごみの量 自然物ごみ 40袋

人工物ごみ 20袋

コメント 環境月間行事の一環として海岸清掃を実施した。



渥美火力発電所

平成30年6月5日午後3時30分～4時
30分

活動場所 渥美火力発電所北西の
「西の浜海岸」

参加者 73名

ごみの量 人工物ごみ 140袋

コメント 所員22名、構内グループ会社および関係会社社員51名の総勢73名にて渥美火力発電所北西に位置する「西の浜海岸」の清掃を環境月間行事の一環として実施しました。



発電CP上越火力発電所

平成30年6月11日

活動場所 発電所東 西ヶ窪浜

参加者 55名

ごみの量 人工物ごみ 100袋

コメント 上越市八千浦地区の海まつり前の会場美化を兼ねた、海岸清掃を実施しました。当日は、地元の小中学生と当社関係者約200名が清掃活動に参加し、熱中症に留意しながら精力的に清掃活動を実施し、爽やかな汗をかくことができました。今後とも地域社会の一員として、環境美化活動に積極的に取り組んでまいります。



四国電力株式会社 伊予事業所

平成30年7月15日午前8時～9時

活動場所 伊予市 五色浜海岸お
よび公園

参加者 70名

ごみの量 自然物ごみ 30袋

人工物ごみ 2袋

コメント 清潔で爽やかな伊予市づくり事業の一環として「クリーン伊予運動」を地域ぐるみ(地域住民・企業・学生)で実施しており、当社は、近くの五色浜海岸および公園の清掃を実施した。



電源開発株式会社 松浦火力発電所

平成30年6月13日

活動場所 大崎海水浴場(松浦市)

参加者 38名

ごみの量 自然物ごみ 31袋

人工物ごみ 22袋



平成30年度 海の羽根募金・なぎさの環境基金

海と渚をきれいにを目指す「海と渚の環境美化活動」に皆様方からの温かいご支援をいただきました。心よりお礼申し上げます。
(個人の方からもたくさんのご支援をいただきましたが、団体名のみ記載させていただきます。)

- 青森県漁業環境保全振興協会
- 秋田県漁協女性部連絡協議会
- 東京都漁業協同組合連合会
- 佐賀県有明海漁業協同組合
- 大分県漁業協同組合
- 沖縄県漁業協同組合連合会
- 長万部漁業協同組合
- 落部漁業協同組合
- 福島吉岡漁業協同組合
- 雄武漁業協同組合
- 沙留漁業協同組合
- 枝幸漁業協同組合
- 八雲町漁業協同組合
- 協野沢村漁業協同組合
- 外ヶ浜漁業協同組合
- 重茂漁業協同組合
- 秋田県漁協女性部連絡協議会北浦支部
- 鹿島灘漁業協同組合
- 富津漁業協同組合
- 小坪漁業協同組合
- 葉山町漁業協同組合
- 石川県漁業協同組合金沢支所
- 越前町漁業協同組合
- 城南漁業協同組合
- 京都府漁業協同組合湊支所
- 南あわじ漁業協同組合
- 津名漁業協同組合
- 兵庫県漁協女性部連合会
- 姫路市漁業協同組合白浜支所
- 室津漁業協同組合
- 宇久井漁業協同組合
- 和歌浦漁業協同組合
- 海南市漁業協同組合
- 音戸漁業協同組合
- 下蒲刈町漁業協同組合
- 宮島漁業協同組合
- 山口県漁業協同組合古母支店
- 岩国市漁業協同組合
- 高松市瀬戸内漁業協同組合
- 牟礼漁業協同組合
- 鴨庄漁業協同組合
- 橘浦漁業協同組合
- 高知県漁業協同組合下ノ加江支所
- 松山市美津浜漁業協同組合
- 福岡県漁協青壮年協議会
- 北九州市漁業協同組合
- 佐賀玄海漁業協同組合肥前統括支所
- 宇久小値賀漁業協同組合
- 大浜漁業協同組合
- 滑石漁業協同組合
- 南種子漁業協同組合
- 東桜島漁業協同組合
- 糸満漁業協同組合
- 千葉県信用漁業協同組合連合会
- 三重県信用漁業協同組合連合会親睦会
- 香川県信用漁業協同組合連合会
- 長崎県信用漁業協同組合連合会
- 宮崎県信用漁業協同組合連合会
- 沖縄県信用漁業協同組合連合会
- 三重県漁業共済組合
- 香川県漁業共済組合
- 共水連大分県事務所
- 全国共済水産業協同組合連合会大分県事務所
- 全国漁業協同組合連合会釧路油槽所
- 全国漁業協同組合連合会八戸油槽所
- 全国漁業協同組合連合会枕崎油槽所
- (一財)中央漁業操業安全協会
- (一財)日本鯨類研究所
- (一社)海外まき網漁業協会
- (一社)漁業情報サービスセンター
- (一社)水産土木建設技術センター
- (一社)責任あるまぐろ漁業推進機構
- (一社)全国まき網漁業協会
- (一社)全日本漁港建設協会
- (一社)大日本水産会
- (公社)日本水産資源保護協会
- (公財)海洋生物環境研究所実証試験場
- (公社)日本海難防止協会
- 全国さんま棒受網漁業協同組合
- 全国遠洋沖合漁業信用基金協会
- 全国市町村水産業振興対策協議会
- (国研)水産研究・教育機構北海道水産研究所
- (国研)水産研究・教育機構東北水産研究所八戸庁舎
- (国研)水産研究・教育機構水産工学研究所
- (国研)水産研究・教育機構中央水産研究所横須賀庁舎
- (国研)水産研究・教育機構国際水産資源研究所
- (国研)水産研究・教育機構増養殖研究所
- (国研)水産研究・教育機構西海区水産研究所
- (特非)水産業・漁村活性化推進機構
- (株)イタ飯屋
- (株)エルコム
- (株)セルテック・リフレ
- (株)チエノワ情報システムズ
- (株)ロックブリッジ
- (株)西原資源
- (有)仁徳海運
- サントリービバレッジサービス(株)
- ソフトバンク(株)
- とまり共同給油所
- 横浜冷凍(株)
- 酒田曳船(株)
- 谷口商会(株)
- 東洋漁業(株)
- 日本ソリッド(株)
- 青森県農林水産部水産局水産振興課
- 岩手県水産技術センター
- 宮城県農林水産部水産業基盤整備課
- 茨城県農林水産部漁政課
- 千葉県漁業資源課
- 東京都水産課
- 東京都島しょ農林水産総合センター
- 新潟県農林水産部水産課
- 新潟県水産海洋研究所
- 富山県農林水産部水産漁港課
- 静岡県経済産業部水産業局
- 三重県農林水産部水産資源経営課
- 島根県農林水産部水産課水産和会
- 徳島県水産振興課
- 徳島県漁業調整課部会
- 香川県水産課
- 大分県漁業管理課
- 大分県水産振興課
- 玄海水産振興センター
- 鹿児島県商工労働水産部水産振興課
- 沖縄県水産海洋技術センター
- 石油連盟海油協 備讃 徳島 境港支部
- 水産庁漁業資源課水産海洋保全班
- 北海道漁業調整事務所
- 仙台漁業調整事務所碧波会
- 瀬戸内海漁業調整事務所
- 九州漁業調整事務所

あ と が き

新年号「令和」を迎え、気持ちも新たに仕事に取り掛かった方も多いことと思います。

G20の会合が大阪で開かれるのを前に、世界の環境問題の中でも、「海ゴミ問題」が注目を集める中、新潟で農業大臣会合が開催されるのに際し、当機構が水産庁の補助事業の予算で取り組んだ事例等の紹介のため、ブースを出展・説明することになり、そのお手伝いに関係者が集まり、朱鷺メッセへ出かけました。

近くのブースでは、畑を被覆するビニールの生分解性プラスチックの取り組み等、原料・製品に至るさまざまな事例が紹介がされておりましたが、諸外国の大臣の警護に力点が置かれ、オリンピック・パラリンピックの要人警護の予行練習にも活かせ

たのでしょうか、警察のボートや海上保安庁の艦船による万全の警備がなされておりました。そのため一般の方の来場も制限されたようで、出展者同士の情報収集に目的を変えざるを得なくなった向きも感じられ?!、少し残念に思いました。

先日には、冬場マイナス30度を記録する極寒の北海道の十勝で、何と39度を超す気温が記録されるニュースが流れました。こうした背景には化石燃料の燃焼なども影響しているのでしょうか。小職の子供の頃には扇風機すら必要なかった北海道。まして冷房・クーラーの無い家も多いのに、どうやって暑い夜をしのいだのでしょうか。令和の時代、G20の様に、世界の人々の英知を集めて、^{きよ}気淑く平和で和やかな時代とならんことを祈りたいと思います。

石山

鴨川シーワールド 入園割引券

本券を切り取り、チケットをお求めの際にご提出下さい。

2019年12月31日まで有効

- ・本券1枚で5名様までご利用できます
- ・他の割引券との併用はできません
- ・クーポン券、団体扱いには適用しません
- ・本券での受付時間は開館1時間前迄です

公益財団法人

海と渚環境美化・油濁対策機構

通常入園料金 割引料金

大人(高校生以上) ¥3,000 ▶ ¥2,700

小人(小中学生) ¥1,800 ▶ ¥1,620

幼児(4歳以上) ¥1,200 ▶ ¥1,080

シルバー(60歳以上) 通常料金通り¥2,400

×キリトリ

